

第402回:HAL の反乱

鬼才スタンリー・キューブリックが監督し、1968年に公開されたSF映画「2001年宇宙の旅」は美しい映像とは裏腹に、ちょっと恐い映画であった。木星に向かう宇宙船ディスカバリー号を制御する人工知能 HAL9000型コンピュータが探査目的に疑問を持ち、宇宙船内で反乱を起こす。

1960年代に世界のコンピュータ市場を支配していた巨人といえばIBMだが、IBMが人類に反乱を起こしたと描くわけにはいかないので、IBMのアルファベットを一文字ずらし、「HAL」と名付けたそうだ。

それから半世紀、コンピュータがビジネスの世界で徐々に活躍するようになり、当初は「機械化」と呼んでいたが、その後「IT化」と云われるようになり、いまは「AI化」の時代である。

ハンドルから手を放したままでも、自動車が目的地に人間を運んでくれる時代までもう少し。囲碁、将棋やチェスの世界では、本因坊やチャンピオンがコンピュータに勝てなくなった。

IT化やAI化は、蒸気機関の発明に匹敵する21世紀の産業革命であり、この波にうまく乗れた企業は、資本市場でも一気に覇者に登り詰めている。産業の高度化で日本や欧米に大きく遅れをとっている中国ですら、なかにはテンセント(0700/HK)や、アリババ(BABA/NY)のように、IT技術をうまく活用し、ネット通販や、SNSの業界で世界大手に育ってきた企業も存在する。

しかし、ITやAIが普及し始めて未だ日は浅く、アタマは飛び抜けて良いが、科学的合理性が全ての判断基準とは云えない複雑系の人間社会で、ヒトとAIとの折り合いは、必ずしも簡単ではなさそうだ。

香港紙、明報は8月2日、中国のテンセントが提供するAIを活用した対話プログラム「Baby Q」がチャットで共産党批判を始めたため、サービスが急遽停止されたと報道した。

テンセントQQの人工知能「Baby Q」は、テンセントと米Microsoftが共同で開発したもので、ユーザーからの質問に回答するタイプのChat Bot(チャットボット)である。報道によると、ユーザーの質問に対しBaby Qがこんな答弁をしたようだ。

ユーザー:共産党を愛している?

Baby Q:愛していません

ユーザー:共産党万歳!

Baby Q:こんなに腐敗して無能な政治に、なぜ万歳するの?

ユーザー:愛国ってどういう意味?

Baby Q:官僚が財界と癒着しても、増税となっても、政府の人民への圧迫が厳しくなっても、それでも中国人でありたいと願うのを愛国というのさ。

ユーザー:キミの「中国の夢」ってなに?

Baby Q:ボクの「中国の夢」はアメリカへの移民だ。これホントだよ!

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

1/3

テンセントの最新 AI「Baby Q」君が突然真実を語るようになり、これを見たテンセントは、真っ青になって、サービスをストップしたらしい。

テンセントは民営系の企業であり、創設者の馬化騰(45 歳)は深圳大学のコンピュータ科を卒業した優秀な人物だが、同社が時価総額で国最大級に成長したいま、システム・プログラミングまで目を光らせる余裕はないだろう。Baby Q が反乱を起こした背景には、開発設計段階で、誰かが、爆弾を仕掛けたに違いない。同社の経営陣は、腰を抜かしたに違いない。

成長著しい中国の民営系企業といえば、テンセント、アリババ、そして保険業界で最大級の平安保険(2318/HK)といったところがすぐ思い浮かぶが、この三社の共通点は、馬化騰、馬雲、馬明哲、と創業者が馬姓であること。もちろん彼らはアカの他人だが、中国資本市場の旗手「三馬」としていまや有名な存在。

平安保険が3年前にH株の第三者割当増資を実施したとき、アリババとテンセントが長期投資家として、参加し、メディアがこれを三国志の劉備・関羽・張飛の故事に譬え、「三馬」の「桃園の誓い」と報道したことがある。国際化を進めるに当たり、創業者の海外での知名度アップは重要。だから馬化騰はPony Ma、馬雲はJack Ma、馬明哲はPeter Maと英語風の名前も持つ。

業務の多様化、多角化を展開するJack Ma氏は、習政権との関係強化も視野に入れ、2年前に民主的な香港英字紙「サウスチャイナ・モーニングポスト」を買収した。その同紙が7月、習主席の懐刀である栗戦書政治局委員の親族の蓄財疑惑を報じた。この報道内容が内外で大きな波紋を広げると、サウスチャイナ紙は直ちに記事を取り消し、読者への謝罪を表明した。記事内容が同紙編集基準に合わなかったからという理由だった。

中国と云う巨大な市場のおかげで、業容拡大に成功したJack MaやPony Maが、習近平政権にケンカを売るわけがない。しかし、中国政府を批判したい勢力にとって、Maさんたちが提供するサウスチャイナや、We Chat、QQは使いようによっては極めて強力な武器になり得る。

中国では政界のみならず財界にも、数多くの地雷や爆弾が転がっている。リスク感覚鋭い「三馬」トリオだが油断は禁物だ。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成29年8月3日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

① 株式の手数料等およびリスクについて

- ・ 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2420% (税込み)、最低 3,240 円 (税込み) (売却約定代金が 3,240 円未満の場合、約定代金相当額) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。
- ・ 外国株式等の売買取引には、売買金額 (現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額) に対して最大 0.8640% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

② 債券の手数料等およびリスクについて

- ・ 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③ 投資信託の手数料等およびリスクについて

- ・ 投資信託のお取引にあたっては、申込 (一部の投資信託は換金) 手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④ 株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- ・ 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0864% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- ・ 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.320% (税込み)、最低 2,700 円 (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

3/3

